

発表案件

1 平成 29 年度一般会計当初予算の概要について

この度、見直しを行う「佐渡市将来ビジョン」で掲げる 5 つの戦略を重点にし、平成 29 年度の予算編成を行いました。予算規模は 469 億円で、平成 28 年度当初予算と比べ 24 億円、率で 5.4% の増となりました。

主な増額理由は、特定有人国境離島特別措置法の施行に伴い新たに創設された交付金事業が 13 億 6,200 万円、合併特例債事業が 9 億 2,700 万円増額したことによるものです。

歳入のポイントとしましては、特定有人国境離島特別措置法による地域社会維持推進交付金の創設、地方創生推進交付金の増による国庫支出金の増額、次に財政調整基金繰入金の増による基金繰入金の増額、次に合併特例債の増による市債の増額、そして市税の減額となります。

歳出のポイントとしましては、特定有人国境離島地域社会維持推進事業の創設による補助費等の増額、合併特例債事業の増による普通建設事業の増額、職員数の削減等による人件費の抑制となります。

次に、重点事業についてご説明します。

①農業再生に向けた中長期ビジョンを明確に示し、雇用の受け皿となる農業経営体の育成を図るなど、産業の振興と雇用環境の改善を図ります。

このため、農業の再生に向けたビジョンの策定事業や、特定有人国境離島特別措置法に基づく国の制度を活用した創業・事業拡大等の支援事業、観光と他の産業との連携事業などに 5 億 7,972 万円を計上しています。

②観光の振興につきましては、その大きな要因として期待される佐渡金銀山の世界遺産登録に取り組みなければなりません。また、地域観光を取り巻く環境が大きく変化しているなかで、地域観光の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる佐渡版 DMO の構築が求められています。

このため、ガイドンス施設の建設事業や、佐渡を世界遺産にする会等、民間での取組と連携しながら島内の受け入れ体制の整備を行うといった世界遺産関連の事業、佐渡版 DMO の平成 30 年度立ち上げに向けた準備期間としての取り組み、インバウンド対策、特定有人国境離島特別措置法に基づく国の制度を活用しもう 1 泊を追加する滞在型観光促進事業などに 7 億 7,086 万円を計上しております。

③昨年 10 月に実施した市民アンケート調査の結果、航路や空路の整備について 6 割の市民が“満足していない”と回答しており、交通ネットワークのさらなる利便性の向上が必要です。

このため、特定有人国境離島特別措置法に基づく国の制度の活用により、島民、いわゆる住民票が佐渡市にある方向けに、島と本土を結ぶ航路全体を JR 並みの運賃にし、本土への移動に対する金銭的な負担の低減に向けた航路運賃低廉化事業や、交通空白地の解消に向けた島内交通実態調査事業などに 7 億 6,809 万円を計上しています。

④佐渡の活性化に向けて、安心して子育てができる体制づくりや、医療・介護・福祉の連携な

子どもから高齢者が住みやすい環境づくりに加え、移住・定住の促進や人材育成等から若者が佐渡で活躍できる環境整備が重要です。

このため、保育料等の2人目以降の無料化、佐渡版地域包括ケアシステムの構築、移住サポートセンターの整備のほか、地域や学校の図書館・図書室への司書配置などに2億6,351万円を計上しています。

⑤市民が安心して暮らし続けるためには、災害に強い島づくりは重要でございます。また、近年、前例のない自然災害が各地で多発しており、災害に対し市民の安全を確保するために、ソフト事業の推進にも取り組む必要がございます。

このため、地域防災リーダースキルアップ事業などに2,551万円を計上しております。

詳しくは、配付している当初予算の概要でご確認ください。

2 平成28年度一般会計補正予算第8号の概要について

3月定例市議会に上程する、平成28年度佐渡市一般会計補正予算第8号について説明します。

今回の一般会計補正予算の規模でございますが、622万2千円を追加し、予算総額は465億7,316万2千円となります。

概要ですが、①国の平成28年度補正予算(第2号)に伴う経済対策事業です。国から交付内示を受けましたので、補正予算として1億5,432万5千円を計上いたします。主な対象事業は「海の家さわた」を改修し、マリンスポーツの拠点として整備するほか、統合により廃園となる金井新保保育園を、子ども若者相談センターおよび児童発達支援の拠点として整備する地方創生拠点整備交付金事業が8,486万8千円、県営農業農村整備事業負担金など、その他の経済対策事業が6,945万7千円でございます。

②地域の拠点施設等整備支援事業補助金でございます。災害時の避難所に指定された公民館施設の修繕や改修に対して補助するものです。この度、離島活性化交付金の対象事業として採択されましたので2,500万円を計上します。

③旧相川支所解体事業でございます。今月2日の早朝に、旧相川支所の外壁の一部が崩落し、地域の皆さまにはご不便、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。今回の補正予算で、家屋調査委託料1,300万円を計上し、可能な限り早期に解体できるよう努めてまいります。

④その他の経費については、12月補正予算編成後の事由による緊急性のある経費について計上しました。

3 新たな航路運賃低廉化事業に伴う島民確認手続きについて

先ほど、平成29年度一般会計当初予算の概要でもふれました「特定有人国境離島地域社会維持推進事業」で4月1日から佐渡航路の運賃低廉化が図られることとなります。

本来であれば当初予算についての議会議決を経た後、市民への周知を行わなければなりません。この事業の開始が4月1日からとなっており、十分な制度周知を行う必要があることから、市議会の了承をいただき、市民への事前周知を行うことになりました。

つきましては、割引後の運賃についてはあくまで予定であり詳細について調整中となっております。

りますのでご了承願います。

この割引の対象者は、佐渡市に住所を有する島民に限定されますので、島発フェリー往復切符などを除き、一部の乗船券購入の際には佐渡島民であることの確認手続きが必要となります。

については、10月を目途に島民確認用の島民カード導入を進めてまいります。それまでの間、4月から9月は暫定的な確認方法で対応することとなります。この間の暫定確認方法については、所定の島民運賃割引申込書に氏名・住所など必要事項をご記入いただき、免許証や健康保険証などの現住所が確認できるものを佐渡汽船窓口に掲示し確認を行いますので、ご協力をお願いいたします。

なお、これらの詳細につきましては3月10日を目途にチラシ等で周知したいと考えています。

4 平成29年度からの行政組織体制について

4月1日から行政組織体制を再編しますのでお知らせします。

様々な施策や行政課題にスピード感をもって柔軟かつ的確に対応するために見直したものでございます。主な内容は、関連グループの連携を基本とし、5つに分けた部制への移行により5部19課に再編するものです。

今回設置する部は、人事や税、防災に関する事務を所掌する総務部、施策立案や行政改革を所掌する企画財政部、市民生活、福祉、環境部門を所掌する市民福祉部、産業や観光、地域振興に関する事務を所掌する産業観光部、建設や上下水道を所掌する建設部となります。

課につきましては、政策立案や行政改革、防災危機管理機能の充実や子育て支援の推進、地場産業再生等に向け再編を行ったものであります。

今回、部制への移行により、部長が各課を束ねることになりますが、部横断的な事務調整や情報共有などを行い、スピード感のある体制を作ることが目的となります。

なお、支所・行政サービスセンター、教育委員会、各行政委員会、病院、消防の組織体制の変更は行いません。

この後、市報でも3月および4月と組織の再編についてお知らせしますのでご確認頂ければと思います。

5 佐渡国際トライアスロン大会のエントリー開始について

「佐渡国際トライアスロン大会」は、佐渡の活性化とスポーツ振興・観光振興を目的として平成元年から開催し、今回で29回目を迎えます。毎年9月の第1週日曜日に開催しており、今年も9月3日の開催となります。

大会へのエントリー期間は、3月1日水曜日から3月10日金曜日までとなっています。募集人数はAタイプ1,000人、Bタイプ800人、リレータイプ100チームです。

本大会は毎年人気が高く、エントリー期間も10日間と短くなっていますが、この他に特別枠として、ふるさと納税枠とチャリティ枠を用意しています。

1つ目のふるさと納税枠は前回大会から始めておりますが、30万円以上のふるさと納税で出場権が獲得できます。この、ふるさと納税出場枠は、昨年の20人から今年は50人に拡大しま

した。すでに募集を開始しており、現在 28 人の申し込みがあります。

2 つ目のチャリティ枠は、収入の一部を佐渡市のスポーツ振興に充てる目的で設けており、一口 10 万円、先着 20 人で一般と同じく 3 月 1 日から募集します。

また、大会前日の 9 月 2 日にはジュニア大会を開催し、小学 1 年生から中学生まで 150 人を募集します。ジュニア大会のエントリーは 3 月 1 日の水曜日から 5 月 26 日の金曜日までとなっています。ただし定員になり次第締め切りますので、早目の申し込みをお願いします。

エントリーの方法など、詳しくは大会ホームページでご確認くださいますようお願いいたします。

6 住民票の写し等の交付に対する「本人通知」が始まります

住民票の写し、戸籍関係の証明書等を、ご本人やご家族以外の第三者へ交付した際に、交付があったことをご本人へお知らせする「本人通知制度」を佐渡市もこの 4 月 1 日から始めます。

住民票の写し等や戸籍関係の証明書は、相続手続きなど正当な理由がある場合には、第三者も請求することができますが、全国的に不正請求や不正取得の事例が報告されております。

このため、市民の皆さまの個人情報の保護と不正請求や不正取得の抑止、また犯罪を防止することを目的としたのがこの「本人通知」です。

「本人通知」を希望する場合は、事前に登録していただく必要があります、3 月 1 日から受け付けを始めさせていただきます。詳しくは、市民生活課や各支所・行政 S C の窓口へお問い合わせください。

この制度によって、市民の皆さまの安全・安心につながり、人権を守ることとなりますので、多くの登録をお願いします。

7 教育委員会職員による非違行為について

この度、教育委員会職員が飲酒のうえ車を運転し、自損物損事故を起こした事案が判明いたしました。公務外の事案とはいえ、あってはならない行為であり、市民の皆さまの信頼を大きく裏切ることとなったことを誠に申し訳なくここにお詫び申しあげます。誠に申し訳ございませんでした。

この非違行為を起こした職員は、社会教育課出先施設の主任 40 歳代の男性職員でございます。事案の内容については、平成 29 年 2 月 14 日火曜日、午前 10 時過ぎ、私用で宿泊していた東京都内のホテルを出たのち、午後 4 時新潟港発のカーフェリー乗船までの間に相当量の飲酒をしたにもかかわらず車を運転し、午後 7 時 45 分から 50 分頃、新穂瓜生屋地内で自損物損事故を起こし、佐渡病院へ救急搬送されたものであります。

当該職員の処分につきましては、警察の事情聴取が 3 月上旬にかけ行われるため、今後の捜査進展を待ち、処分が決定した時点において教育委員会会議に諮り、量定を決定することとしております。

なお、今回の事案に対し、自らを戒めるため、私と教育長の本年 4 月分の給料月額を減ずる条例を 3 月定例市議会に上程する予定でございます。

事前質問

提出はありませんでした。

質疑応答

1) 平成 29 年度一般会計当初予算の概要について

記者

新年度予算について、市長になって初めての新年度予算となりますが、改めて何か…

市長

予算規模については国境離島特措法と合特債の分が増額のほとんどの部分であります。それは、(別冊の当初予算の) 概要を見て頂いて判断して頂ければと思いますが、いくつか今回世界遺産等を含めてお客さんの受入体制について島の景観美化についても一定の予算を組んで県の振興局と連携しながら幹線(道路)沿いの除草等美化活動に力を入れようと考えていますし、子育て支援、市民の皆さんへのサービスの一環という意味で、この4月からこれまで土日お休みを頂いていた市内全部の図書室図書館を土日開館ということで平日1日のみ閉館し、週末は朝から夕方までしっかり開いて利用して頂けると、子育て支援も絡めたサービスを今年度からスタートします。また、子ども若者相談センターにつきましても、閉園になった保育園を改造し島全体のサポート拠点として整備します。細かいものは多々ありますが、2・3例をあげさせてもらおうとこのようになります。

記者

三浦市政としての予算はこれだと一言で言うと

市長

一言で言うと、出産から子育て介護までを含めたトータルの人に対する支援を強化した予算だと考えています。

～～

記者

市長の色がついた予算ですが、評価は？

市長

この予算については予算査定の段階で細かくチェックして修正要望を管理職・各課に出しました。その中でかなり前提の考え方スタンスをこれまでの予算づくりと一定度の範囲で意識を変えての予算組みを行ったと考えています。

記者

特に力を入れたものは今程言われた内容でいいですか？

市長

いわゆる予算の金額の規模の問題じゃなくて、考え方として何のサポートをしていかなければならないのか、何に手当てしていかなければいけないかということを中心に考えました。

～～

記者

先ほどの子ども若者の新規事業はどれですか

社会福祉課長

子ども若者課設置によるものについては、当初予算の概要の3ページになります。重点事業の子育て支援の充実というところに児童発達支援事業というのがあります。これは、今年度まで行ってきました養育事業を来年度から国の予算を頂きながら更に拡充をしていきたいというのが新規のものになります。

記者

発達が気になる児童に対する療養の場の提供というのが
児童発達支援事業、障害がある子が

社会福祉課長

発達段階において支援が必要となる子どもさん、親御さんへの支援相談を強化していきたいということで来年度そのような事業を組ませて頂いております。

～～

記者

災害に強い島づくりを謳っておられて、一般会計予算でも災害対策費がありますが、火事があつてああいう状態になったり、県内大火もあつて、どなたが市長になつても防火水槽の整備など新年度予算に少しはありますけどももう少し力を入れてもいいんじゃないかと感じます。昨年度までのデータで消火栓・防火水槽が6割くらいなくて4割整備されていない状況を見ると、早急にでもしかるべきかなと思うんですが、そのあたりの考えというか、どのくらいの見通しで整備していくのか市民も不安に思うわけですからこのあたりをお願いします。

消防長

佐渡市の消防水利の基準整備については61.29%です。基準数については2286あるうち、現有が1401となっています。防火水槽、1基約800万円程度かかります。防火水槽に限らず消火栓を含めた消防水利となっていますので、価格もかかりますが早急にできるところから整備していきたいと考えています。

記者

できる限り早急にとということなんですけど、見通しでは80%位になるにはどのくらいかかると考えていますか

消防長

まだまだかなり（時間が）かかると思っています。県内でも90・100%というところはありませんし、また、新たに集落等ができますと基準数も変わってきますので、そのあたりは早急にと思っています。

記者

市長はどのように考えていますか

市長

必要などころについては優先順位を付けて整備計画を今後も詰めていかなければならないと思いますが、防火水槽と消火栓合わせての考え方になりますので、消火栓の配置状況も含めて地区の住居の密集の仕方等も含めながら、順次こなしていくしかない、1年で全部できるというようなものではございませんのでその状況をにらみながら随時対応ということで考えたいと思います。

～～

記者

今回の増額理由としては措置法の関連が大きいかと思いますけど、これについても運賃引き下げや雇用までやっているかと思いますが、これの評価というかご自身の・・・

市長

運賃の低廉化につきましては、元々新法的前提がJR並みの低廉化ということでございまして、それに佐渡でいいますと佐渡汽船の運賃になる訳ですが、そのJR並みの低廉化の考え方は法律の考え方どおりでほぼ下限いっぱい料金で低廉化させて頂くという形をとらせて頂きました。あと、それ以外の雇用促進についてはあくまでも佐渡市としてどのような形で雇用を生み活性化するかという事業案、更には滞在型の誘客についても全部一つの事業企画として国に対して申請して来たものでございますので、基本的には内部の討議の中でも国境離島法の中で佐渡市として活用できる範囲は全ての可能性について事業企画を組み立てようとやらせて頂きました。

～～

記者

交通ネットワークの充実の中に、空路が何も入ってないんだけど、空路は力を入れない？

市長

空路については、手詰まりの状態が続いていますので、今年度1年かけまして知事と問題点を分析して考えなければいけない要点等を含めてしっかり県と市で改めて協議・打ち合わせをしてしっかり方向性を確認してみようと知事と話しています。

記者

世界遺産登録等を目指すとする、空路は欠かせないと思うんですね、ある程度人数が乗れる空路、新潟佐渡間あるいは本土をつなぐ部分も含めてもうチョット研究費とか調査費とか入ってもよさそうかなと思ったんですけど

市長

それにつきましては、新潟佐渡間については県のほうと

記者

県任せじゃなくて

市長

県ともやり取りしています

記者

何かしら予算を上げて積極的な姿勢を見せるべきじゃないですか

市長

その辺につきましては、新潟佐渡間の再開目処が立てばそのタイミングで補正対応で可能と考えています。

記者

ジェットfoilも部品供給が難しくなっているのはご存じですか

市長

部品供給については何とか見通しが立ったと報告を受けています

記者

じゃあ船齢最高でも“ぎんが”なんか40年近くなると思うんですけど、だんだん更新の時期に来ているジェットfoilの割引きばかり国境離島の予算であげても、肝心のジェットfoilそのものの更新というのは可能性はあるんですか？

市長

ジェットfoilそのものについては、更新の年度新しいジェットfoilに切り替える年度については今佐渡汽船さんの方で計画を組んでいる最中ですが、東京都の方でジェットfoilの新造船がほぼ決まりましたので、そのことで今後部品の確保等を含めて見通しが立っております。あとは佐渡汽船側が何年度での切り替え、新造船の入れ替え等々を計画するかということのを待っての対応だと思っています。

記者

県と調整していこうとしている空路の新潟佐渡間の件ですけど、何か新しい発想転換とかあるんですか

市長

今の2,000m化も含めて両面から県と市でこの1年をかけて様々な観点から検討分析しようという話しをさせて頂いてこの4月以降の協議スタートになるだろうと考えています。

～～

記者

初の新年度予算になると思うんですけど、点数を付けるとすれば

市長

私自身、予算に点数は付けるものではないと思います。この組んだ予算を実際に執行した結果どの程度の効果が生まれたかというのが点数になるものだと考えています。

記者

先ほど、使い方、流れを変えたということなんですけど、どういった部分で流れを変えたんでしょうか

市長

流れは変えない

記者

流れを変えたというか、使い方

市長

考え方、予算の考え方

記者

どこに一番力を入れたんでしょうか

市長

どこにというか、今回当初の予算査定を含め、**28年度予算**までの流れも含めていわゆる大きな政策的な部分だけじゃなくて既存の予算も含めてほぼ全量一つ一つをチェックし直したうえで新年度予算の組み方に向かったという部分が一番大きいと思います。かなり小さい金額の従来どおりの予算内容についても各課からの説明を踏まえて確認チェックしたうえで金額の大小に関わらずこれは一旦廃止しようというものは廃止しましたし、その辺のところの生まれた原資で新しく例えばこういうものが市民対応として必要でしょうというものにその部分をまわらせて頂いた部分は多々あります。

2)平成 28 年度一般会計補正予算第 8 号の概要について

なし

3)新たな航路運賃低廉化事業に伴う島民確認手続きについて

記者

これは、年間事業になるんですよね、年度内全体事業になるんですよね。島民利用って大体何人くらいを想定しているんですか

市長

島民利用

記者

航路運賃低廉化事業で

市長

従来との違いですか

記者

この金額を出した基礎ですね

市長

金額の基礎は、前年の・・・

交通政策課長

運賃の基礎は先ほど市長から申しあげたとおり、フェリーにつきましてはJRの普通運賃

記者

金額じゃなくて、利用客数

交通政策課長

利用客数は現年度島民の総利用数約50万人です。これを金額的には運賃と掛け合わせた

ということです

記者

利用者はアップ、これでジェットfoil利用がかなり増えてくる感じですか、島民利用も 50 万人から上がってくるくらいに見てますか

市長

今回の予算組みにおきましては、島民利用数が増える算定はしていません。ただ、ジェットfoilがかなり安くなりますので、カーフェリー利用者がジェットfoilに切り替える比率は増えるという想定はしています。

～～

記者

カーフェリーの往復は逆に 100 円上がっちゃう？

交通政策課長

カーフェリーの往復につきましては、JRの普通運賃並みで距離換算しますと今島民割引きを含めまして 2,180 円になっておりますけど、JR換算並みにしますと 2,280 円と 100 円上がるということになります。

記者

ここに 2,440 円とあるんですが

交通政策課長

その金額は下限料金にバンカーサーチャージ片道 130 円、往復で 260 円を加算した額となっております。実際島民が支払う額は、運賃にバンカーサーチャージ足したものでその（配付資料の）金額になります。

記者

実際はこの金額、このまま 2,440 円のままにしておくわけにはいかない？

交通政策課長

100 円上がるということですが、この運賃全てを国境離島特措法の制度設計下で求めたものですので、その部分だけ元の運賃のままにするわけにはいきません。

4)平成 29 年度からの行政組織体制について

なし

5)佐渡国際トライアスロン大会のエントリー開始について

なし

6)住民票の写し等の交付に対する「本人通知」が始まります

記者

本人通知は具体的にどういう通知ですか、手紙とかハガキとか

市民生活課長

封書で送る形を予定しています。

7) 教育委員会職員による非違行為について

記者

飲酒して運転したということですが、どこからどこまでですか？これによると4時の新
潟港から出て6時半だから1時間くらい運転していたような計算になるんだけど

市長

運転そのものは両津港から現場までです

記者

酒飲んでたのは新幹線の中だけ

社会教育課長

東京のホテルを10時に出てから、船へ乗る4時まで

記者

フェリーの中では飲んでない？

社会教育課長

船内では飲んでいません、就寝していたということです

～～

記者

この職員ですが、逮捕されてないんでしょうか

社会教育課長

当該職員については、事情聴取が行われておりませんので逮捕はされていないという事
になります。

記者

自損物損事故ですけど、どこにぶつかったんですか

社会教育課長

電柱にぶつかってその後反対車線の民家の垣根で止まったと聞いています。

記者

お酒は何本くらい飲んだ？

社会教育課長

警察の事情聴取が終わっておりませんので、警察の方からは相当量飲んだということだけ
聞いています。

～～

記者

給与月額の減額条例ですが、職員管理の副市長の責任もあると思うんですけど、副市長が
含まれない理由ってあるんですか

市長

今回は、あくまでも私と教育長、教育委員会管轄ですので、私と教育長にさせて頂こうと
思っています。

記者

職員管理は副市長の業務ということをお話されておりましたので

市長

去年の秋、休日の不祥事がいくつか続いた後も、個別面談等でまわってまいりました。副市長もやっていますが、教育委員会の出先機関も含めて注意喚起で廻っている部分は教育長にやっておりますので、教育長にしました。

～～

記者

この間、教育委員会でも学校の不正アクセスがあったその後の調査は進んでいるんですか
学校教育課

業者に調べてもらっています

記者

生徒の名前とか成績とか漏れた可能性はないですか？

学校教育課長

漏れたかどうかも含めて業者に調査してもらっています。

～～

記者

事故の時、同乗者はいなくて1人ですか

市長

1人です。

記者

14日に発生して、今日発表された理由とか

市長

記者会見前は、事実確認等を踏まえて先週議会議員懇で説明させて頂いた、それを踏まえてということで今日にさせていただいたということです。

～～

記者

市長と教育長の月額を減ずる条例ですけど、どれくらい減ずる

市長

これから議案として出すのですが、10%1ヶ月を考えています。

記者

4月分1ヶ月

市長

1ヶ月です。

その他の質問

記者

部が復活するメリットは何かということと、部がなくなったのはいつでその時の理由は何だったのか？

市長

部制にするのは昨年来内部でやらせていただいている、課が市長部局だけで 18 に分かれておりますが、どうしても横連動がスムーズにいけない縦割り部分が非常に強いというのを私も副市長も感じておりました。その中で、関連性の強い課については一つの大きなグループとして横連動させることが行政としての柔軟な対応・スピード感につながるという考え方で、関連する課を一つの部としてまとめて、それを部長が束ねて常に情報共有・横連動の動きを徹底してもらうというのが最大の目的です。

行政改革課長

従前の部につきましては、平成 18 年度から 21 年度までの 4 年間部制がひかれておりました。

22 年度に新たに課制ということになったわけですが、簡素で速やかな連絡調整を行いたいということで課にしたということです。

記者

平成 22 年度？

行政改革課長

平成 22 年度の 4 月 1 日から課制という形になっています。

～～

記者

市の予算がまとまったわけですが、世界遺産の国内推薦を勝ち取るというこの見通しというか、市長の思いを

市長

昨年末、本年に入っても、いろんな大勢集まる場所でも言わせていただいておりますが、2 年連続見送りという思いをしていますので、ある意味今年が最後の勝負くらいのつもりで組み立てています。その意味では昨年秋の時点で今後のプロモーション活動について、今までは世界遺産推進課、観光振興課等とそれぞれの立場でそれぞれがやっていた形だったんですが、その辺のイベントスケジュールも含めて基本的な取りまとめを観光振興課の 3 資産プロモーション室を主体にして、今後のプロモーション等のスケジュールリングも取りまとめています。

5 月下旬には東京都内でも 500 人を超える規模の国会議員の大所の先生をお呼びしてのイベント等も企画していますし、3 月の推薦書の出し直し、7 月の国内推薦まで含めてフェーズフェーズに分けながら 7 月に今年は勝ち取れるという前提でスケジュールも予算も組ませてもらっています。

～～

記者

先ほど話もあった情報漏洩の件ですけども、普通に中学校の業務を真面目にやっていて情報が漏洩してしまったと言うことで、これはかなり重要なことだと思うんですけど業者任せでまだ把握していませんというのは遅いんじゃないかと。というのは、普通に真面目に仕事をしていて情報漏洩してしまったというのは、佐渡の中学全部で起こりうる可能性だと思いますし、真面目なサイトをキチンとやっていたのであれば、そんなことはないのかもしれませんがそういった点で把握されている部分を教えてください。

教育長

市内中学校の業務をしているときに不正アクセスを受けたということでありまして。実際アクセスしていたところは教材研究用の調べるところで、つながったところで遠隔操作されたということでありまして、通常業務の中で起こったものです。

そういった事が無いように、佐渡市ではコンピュータ等の使用の規程を作成しております、それに準じて校内でも規程を作っています。そういったウィルス感染したということでは警告が出たときはLANケーブルを抜いて、市の教育委員会のほうへ連絡するという手順ですけども、何しろ警告音や指示と混乱した中で、そういった遠隔操作を受けたという状態になったと言うことです。こういったことは起きてはならない訳で、緊急校長会を開催しましてそのあたりの状況や防ぐためにはどうしたら良いかということをお話で指導しました。

この後情報の漏洩等については、普通の業者では入っていけないような専門のところで調べていかなければならないという状況でありますのでその業者にどういった状況になっているのか詳細を調べてもらっているところです。

記者

教育長はそのサイトを把握されていらっしゃるんですか

教育長

学校から連絡がありまして翌日の道徳の授業で使う教材でこのサイトに入ったときに警告音が鳴ったものです。

記者

具体的にそのサイトはご存じでいらっしゃる

教育長

はい、わかります。

記者

そこでフィッシングされたというのはかなり問題じゃないでしょうか

教育長

聞いたところによりますと、そういったサイトのところでチョット違ったところをクリックすると入っていくというようなことを聞いています。

記者

それは普通のまともなところなんですか、じゃあオープンにしても大丈夫ですか、どこのサイトでフィッシングされたとか

教育長

道徳の授業でピューリッツァー賞という報道機関の

記者

内容は結構です、後でどこのサイトというところを教えてください。

教育長

そういったところに検索をかけて入ったと聞いています

記者

ですから、そのサイトを教えてください。そのピューリッツァー賞のどこのサイトに行ったのかアドレスを教えてください。

学校教育課長

本人からの聞き取りによりますとそのような道徳に関しますサイトを検索していたら検索していたらそこで引っかけたというもので、どこのアドレスでというのは認識していない。

記者

ということは、他の方がやっても引かかる可能性があるということですよ

学校教育課長

あります。他の方でも

記者

同じような案件を・・・

学校教育課長

今回の問題につきましては、警告音に驚いて本来 LAN を抜いて教育委員会に報告すれば良かったんですけども、相手方の指示に従って電話をかけて相手方の指示に従って入力した結果乗っ取られたということです。通常ですとそのような警告音が出ても指示に従う事がなければ全くこんな事にはならなかったということです

記者

警告音が出たサイトは分からないんですね

学校教育課長

本人は道徳の授業の教材で検索した先で

記者

じゃあ、本人の証言だけなんですね

学校教育課長

そうです。

～～

記者

飲酒運転なんですけど、フェリーに乗ってから飲んでるんですよ、相当量ってどのくらい飲んでるんですか

市長

フェリーでは飲んでいないです

社会教育課長

10時にホテルを出てから東京界隈を散策しながら新幹線に乗ってから船に乗るまでの間、飲酒したということです。

記者

どのくらい、何を飲んだ？

社会教育課長

量的なものについては警察に聞いた中では相当量とだけ聞いています。

記者

ビールとか、日本酒とか

社会教育課長

わかりません。

記者

事故について市に対しては本人の自己申告ですか

社会教育課長

最初は警察からの電話で確認したところです。

記者

本人が警察に届けたんですか？

市長

救急車で運ばれた

記者

ケガしたの？

社会教育課長

救急車で搬送されて、1日入院ということで

記者

どのくらいのケガをしたの

社会教育課

ケガは異常なしということで、CTスキャン等で検査した

記者

アルコール検査はしたの？

社会教育課

相当量飲んだと言っているの、警察は検査したんだと思います

記者

今時民間企業でも飲んだら車に乗りませんよ。

市長

お話にならない状況だと思います。要するに、しかも私や教育長を今回このようにさせてもらったのも、普通の常識ある社会人ではあり得ないこと、しかも、出先機関も含めてまわって注意喚起・モラルの徹底をやってきた中で、こういう事を行った職員これは擁護・弁解の余地無しと私は考えています。社会人の問題としても論外だと思っています。

記者

いつまで経っても減らない止まらないというのは、ちゃんとしないとダメなんじゃない

市長

これにつきましては、方策と言っても魔法がかかるわけでもありませんので、秋以来やらせてもらっている職員にたいするフェイストウフェイスも含めた注意喚起、モラルの徹底指導を怠りなく常に続けるしかないと思っています。